

## 平成25年度第5回経営協議会議事要旨

日時 平成25年12月2日（月）13時50分～15時15分  
場所 札幌駅前サテライト教室1  
出席者 学外委員：小川、祖母井、柿沼、高橋（孝）、高橋（教）、松岡  
学内委員：本間（議長）、蛇穴、佐川、石川  
オブザーバー：芝木、大津、瀬山、相馬  
欠席者 学外委員：長谷川  
学内委員：城後、渡部  
オブザーバー：佐藤、蛭田

議事に先立ち、学長から、平成25年10月1日付け本学役職員及び10月31日付け経営協議会学内委員の紹介があった。

### ○ 議題

#### 1 就業規則等の改正について

総務部長から、資料3に基づき、職員給与規則の改正（55歳を超える職員の昇給の抑制に係る改正）及び勤務時間規則の改正（産前休暇（特別休暇）の取得開始時期の改正）について、過半数代表者等への説明の経過を含め説明があり、これを承認した。

#### 2 外部評価「国際交流・協力」について

芝木副学長から、資料4に基づき、外部評価「国際交流・協力」の評価結果の概要及び外部評価報告書の作成について説明があり、これを承認した。

#### [学外委員からの主な意見等]

- ・今後、「持続可能な開発のための教育」が大きな課題となっていくことが考えられる。北海道教育大学としてどのように対応していくのか、次回の計画評価の際に盛り込むことも含め検討してほしい。
- ・グローバル人材養成の議論において、大学の学生をどのようにして海外に送り出すのか、また、留学生を大学に連れてくるのかに焦点が移っているが、国際協力についても、大学の姿勢として明確に打ち出し、外に見えるようにしてほしい。

#### 3 平成25年度学内予算の組替えについて

財務部長から、資料5に基づき、平成25年度の人件費の残額見込み（退職手当を除く、若手教員の優先的採用、採用不調等によって生じた額）を新学科設置に伴う施設・設備の整備及び広報経費等の物件費に組替えることについて説明があり、これを承認した。

#### 4 目的積立金の執行計画について（岩見沢校講義棟新営）

財務部長から、資料6に基づき、目的積立金を利用して、岩見沢校講義棟を新営すること及び当該講義棟施設の設備内容・機能について説明があり、これを承認した。

[学外委員からの主な意見等]

- ・岩見沢校に素晴らしい施設ができることに伴い、外部の人が施設利用できるよう検討すべき。その上で、施設借料で自己収入を得ることにもつなげ、施設利用者に対して、岩見沢校の教育・研究の魅力を十分にPRしてほしい。

#### ○ 報告事項

##### 1 北海道教育大学ミッションの再定義の公表案について

学長から、資料7に基づき、文部科学省より提示されたミッションの再定義の本文案について、報告があった。

##### 2 本学における学科設置について

蛇穴理事から、資料8に基づき、本学教育学部国際地域学科及び芸術・スポーツ文化学科の設置計画について、文部科学省より設置を可とする旨の通知があった旨の報告があった。

##### 3 役員の退職手当の支給について

総務部長から、資料9に基づき、平成25年9月30日付け退職の役員の退職手当の支給について、報告があった。

##### 4 平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果について

芝木副学長から、資料10に基づき、国立大学法人評価委員会による平成24年度本学の業務の実績に関する評価結果の概要及び全国の大学の評価内容について、報告があった。

##### 5 財務レポート2013について

財務課長から、資料11に基づき、財務レポート2013の概要について、報告があった。

#### ○ その他

##### 1 今後の大学運営に対する学外委員からの意見

- ・新たな学科の設置については、他大学からも注目されており、学科を適切に運営していく責任は重いと考える。学長には、学内の全体的な統率や適切な運営が求められている。そのような中で、学長がリーダーシップを発揮できるよう各キャンパスの副学長を学長指名にすべきであると考えます。
- ・新学科設置に伴い、今後、国の掲げるグローバル人材の養成に対応した取組を実施できるよう北海道教育大学らしい取組を行う必要がある。

- ・北海道は、開拓の歴史もあり近代化の絡みで途上国との共通の視点がある。また、最も多くの教員を青年海外協力隊として派遣している自治体でもあり、外部とのネットワークを上手く活用しながら、人材育成をしていくなど、具体的な施策を進めてほしい。

## 2 次回会議の予定

学長から、平成26年3月24日（月）の14時から札幌駅前サテライトにおいて開催を予定している旨発言があった。

以 上